

各位

2013年9月11日

KNT－CTホールディングス株式会社  
総務部（広報） 担当：立花  
TEL：03－6891－6839

旅行取扱状況の概観（平成25年7月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事、KNTアジア、の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は昨年近畿日本ツーリスト株式会社が取扱った複数の大型エンターテインメント団体の反動が大きく前年比61.8%、学生団体は同97.2%と前年を下回った結果、団体旅行合計で同66.2%であった。企画旅行については、東アジア方面をはじめとして不振であり、前年比88.3%であった。個人旅行については、前年比88.3%であった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比83.3%と前年を下回る結果となった。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比94.3%、学生団体は同100.9%となり、団体旅行合計で前年比97.1%と前年を僅かに下回った。企画旅行については前年を上回り101.2%、個人旅行については100.9%と前年並であった。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比100.4%と前年並の水準であった。

外国人旅行は、前年比92.4%と前年を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の7月の総取扱額は、前年比94.3%となった。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、企業需要は回復傾向にあるものの、一般団体は前述の大型のエンターテインメント団体の反動が大きく前年比62.4%、学生団体は同97.2%であった。その結果、海外旅行合計で同75.4%と前年を下回った。

国内団体については、学生団体は前年比100.9%であった一方で、一般団体は、同96.0%と前年を下回った。国内旅行合計で同100.2%と前年並であった。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトの取扱額は前年比95.1%と前年を僅かに下回った。方面別取扱人数の状況では、首都圏、伊勢志摩、中国四国方面などが前年を大きく上回ったほか、沖縄、信州方面などが好調である。

ホリデイは、チャーター便を設定した欧州方面が伸長したものの、販売割合が高い東アジア方面を中心として全般的に不調であり、取扱人数、取扱額とも前年を下回った。特に中国方面については引き続き大きく低迷している。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、ヨーロッパ方面がトルコのデモやエジプトの暴動などの影響で厳しい状況であった一方で、クルーズ等が好調を維持しており、全般的にはほぼ前年並であった。

バス旅行を除く国内旅行部門は、天候不順の影響もあり北海道方面は苦戦したものの、出雲大社遷宮効果が続く中国方面や九州方面などが好調であり、前年を上回った。

バス旅行部門は、前年がツアーバスの風評の影響を受けた反動もあり、114.7%と大きく上回った。

テーマ旅行部門は富士山世界遺産登録などの影響で、前年比112.3%と大きく伸長した。

以上